

チップロード(ソフト)

鍍塗りタイプ(3㎡セット品)施工要領書

四国化成の製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

末永くご愛用いただくために、この「施工要領書」をよくお読みいただき、正しい施工をお願いします。

●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと、不具合発生の原因となる事があります。

おことわり

- 樹脂の特性上、雨などの水に濡れると塗膜が白くなることがありますが、物性には問題ありません。
- ゴム製品のため、紫外線などにより多少の色変化があります。
- 駐車場には使用できません。
- 立ち上がり面には施工できません。
- カラーNo.60~63・70は黒色ゴムを使用しているため、足裏に黒色ゴムの汚れが付くことがあります。

安全に関する注意事項

- 製品の特性を十分にご理解いただき、正しくかつ安全にご使用いただくために、次の事項につきまして、ご注意願います。
- ウレタン樹脂の主剤、プライマーについては吸引したり、皮膚に触れたりすると、中毒やかぶれを起こす恐れがあるので、取扱いには下記の注意を守ってください。
- 詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
 1. 作業中は、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
 2. 取扱中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは、送気マスクを付け、更に頭巾、長袖の作業服、えり巻きタオル、保護手袋を着用してください。
 3. 作業後は手洗い・うがいをしてください。汚れた作業服は洗濯してください。
 4. 皮膚に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは、外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
 5. 目に入った場合には、多量の水で洗い、ただちに医師の診断を受けてください。
 6. 蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 7. 誤って飲み込んだ場合には、ただちに医師の診断を受けてください。
 8. 容器からこぼれた場合には、砂などを散布し、回収した後、水洗いしてください。
 9. 容器は密封し、直射日光を避け、換気のよい冷暗所に保管してください。また、冬期には凍結しないように注意してください。
 10. 子供の手の届かないところに保管してください。
 11. 空容器の処理は、可燃物・不燃物に仕分けして産業廃棄物処理業者に依頼してください。残さ・残液などは下水・河川・池・井戸・地下水などを汚染する恐れのある場所には廃棄しないでください。
 12. 指定された以外の材料と混合しないでください。

火気厳禁 危険物 第4類 第1,2石油類

商品のセット内容

I. チップロード(鍍塗り7.5mm厚)

商品は2梱包となっています。

①樹脂セット(プライマー入り)1ケース + ②ゴムチップ骨材1袋 /3㎡分(7.5mm厚)

材 料	内 容 量	梱包単位	備 考
①樹脂セット(プライマー入り)3㎡用	主剤(ウレタン樹脂)	3.6kg/缶	夏用・冬用
	プライマー	0.6kg/缶	通期用
②ゴムチップ骨材 3㎡用	CPR50~58	16.5kg/袋	塗り厚7.5mm→3㎡分
	CPR60~63、70	15kg/袋	塗り厚7.5mm→3㎡分

1セット当りの塗り厚と施工面積

塗り厚	施工面積
7.5mm	3㎡
10mm	2.25㎡
15mm	1.5㎡

※塗り厚を厚くすると施工面積は少なくなります。

II. チップロード ソフト(鍍塗り15mm厚：下塗7.5mm+上塗7.5mm)

商品は4梱包となっています。

①樹脂セット(プライマー入り)1ケース + ②ゴムチップ骨材1袋
+ ③樹脂セット(プライマーなし)1ケース + ④下塗用骨材1袋 /3㎡分(15mm厚)

材 料	内 容 量	梱包単位	備 考
①樹脂セット(プライマー入り)3㎡用	主剤(ウレタン樹脂)	3.6kg/缶	夏用・冬用
	プライマー	0.6kg/缶	通期用
②ゴムチップ骨材 3㎡用	CPR50~58	16.5kg/袋	塗り厚7.5mm→3㎡分
	CPR60~63、70	15kg/袋	塗り厚7.5mm→3㎡分
③樹脂セット(プライマーなし)3㎡用	主剤(ウレタン樹脂)	3.6kg/缶	夏用・冬用
④下塗用骨材 3㎡用	弾性黒ゴムチップ	13.5kg/袋	塗り厚7.5mm→3㎡分

※上記 I. チップロード(鍍塗り7.5mm厚)の①②に③④が追加されます。

施工前の注意事項

●この商品は、現場施工タイプの鍍塗り舗装材です。施工前に商品の確認を行ってください。

3㎡セット内容

	I. チップロード(鍍塗り7.5mm厚)	II. チップロードソフト(鍍塗り15mm厚)
①樹脂セット(プライマー入り)3㎡用	1ケース	1ケース
②ゴムチップ骨材 3㎡用	1袋	1袋
③樹脂セット(プライマーなし)3㎡用	—	1ケース
④下塗用骨材 3㎡用	—	1袋

- 樹脂セットには、「プライマー入り」と「プライマーなし」があります。また、夏用（4月～10月：15～35℃）と冬用（11月～3月：5～15℃）があります。季節に応じて使い分けてください。
- 夏期、材料は風通しの良い日陰などで保管してください。直射日光下に材料を長期間置くと、材料温度が高くなるために可使時間が極端に短くなる場合があります。
- 冬期、材料は室内など気温の高いところ（10℃以上）に保管してください。気温の低い屋外（5℃以下）に保管すると主剤粘度が高くなり、混合作業に不具合を生じ、発泡することがあります。
- 施工にあたっては次のものをご用意してください。
 - モルタルミキサーまたは練り舟（施工面積の広い現場には機械練りが便利です）
 - ウールローラー、ローラーバット、刷毛（プライマー塗布用）
 - 金鏝、レーキ
 - 電気鏝（使用を推奨します。）
 - 各種保護具一式
 - 灯油（鏝拭き取り用）
 - ウエス（鏝拭き取り用）
 - その他左官道具一式
 - 塗料用シンナー（施工後の洗浄用）

施工上の注意事項

- 水は一切使用しないでください。（水の混入や濡れた骨材の使用は硬化不良及び発泡や色むらの原因になります。）
- 主剤と骨材との混合は、均一になるまで十分に行ってください。混合が不十分で樹脂だまりがある場合、発泡やフクレなどの原因となります。
- ゴムチップ骨材と下塗用骨材には多少塊がありますが、樹脂と混合する前にほぐしてから使用してください。
- 夏期炎天下などでの施工は、樹脂の硬化が促進され可使時間が極端に短くなるため、気温の低い日陰からか、早朝、夕方などに施工してください。
- 屋外施工では天候に注意し、降雨、強風時の施工は避けてください。
- 気温10℃以上での施工を標準とします。施工後、気温が5℃以下になる恐れのある場合は施工をしないでください。
- 施工中は、現場付近での火気の使用は避けてください。
- 施工後24時間は立ち入り禁止とし、硬化しきらないうちに雨水などにあたらないようにしてください。必要に応じ、シートなどで雨養生してください。（但し、最高気温が夏用樹脂で20℃以下、冬用樹脂で10℃以下の場合には48時間以上は立ち入り禁止としてください。）
- 樹脂が硬化するまでは多少臭気が伴います。室内での施工は、特に換気を行ってください。
- 樹脂が肌に付着しないようゴム手袋を使用し、万一肌に付着した場合は、石鹸ですぐに洗い流してください。
- 一度開封した主剤およびプライマーは、速やかに使い切ってください。長期保存はできません。高温多湿時に開封したままにしておくと、固まってしまうのでご注意ください。
- 施工の際、塗り面への汗や水の落下に注意してください。塗り面のフクレや白化の原因となります。

下地に関する注意事項

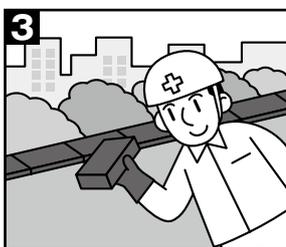
- 適応下地／コンクリート、セメント、アスコン（既設のもの）



- 下地はコンクリート、セメントまたは、アスコンとし、平滑に仕上げたものとします。
- 下地は十分乾燥硬化させてください。（湿っていると塗り材のハガレ・フクレの原因となります。）
- 下地には排水のため、水勾配（2%程度）を付けてください。また、縁石に排水溝を付け水はけをよくしてください。



- 下地の不陸（凹凸）、欠損部などは、あらかじめ「SKカチオンクリート舗装用」などで平滑に補修してください。クラックにはあらかじめ市販のエポキシ系接着剤で補修した上で「SKカチオンクリート舗装用」で平滑にしてください。不陸がある場合は、フクレを生じることがありますので注意してください。
- 施工面積が広い場合は、塗り幅を1.0～1.5m程度に定木で仕切りながら塗り継ぎしていくと作業効率があがります。



- 縁廻りは平タイル、コーナータイルなどで処理すると納まりがよく、美しく仕上がります。
- 用途に応じて、目地棒「SK舗装用目地棒」（別売）で目地切りやデザインもできます。



- 下地表面のホコリ、ゴミ、土、レタンス、油分などは完全に除去してください。

I. チップロード(鍍塗り7.5mm厚)

①樹脂セット(プライマー入り)1ケース + ②ゴムチップ骨材1袋 /3㎡分(7.5mm厚)

※3㎡単位または6㎡単位(3㎡セット×2)で施工していきます。

主剤の開封後、30分以内で作業を完了させてください。

- 作業は、材料の混合と塗り付けに手分けすると作業効率が上がります。
- 材料は使い切りとし、規定量を順番通りに均一に混合してください。また追い足しは樹脂だまりによる発泡の原因となるので、避けてください。

1 プライマーの塗布



- プライマーをウールローラー、刷毛などで均一に下地に塗布します。塗布量は、下地状態により異なりますが200g/㎡を目安としてください。
- ※ プライマーは薄めずにそのまま使用してください。水やラッカーシンナーなどを加えると白く発泡したり硬化不良をおこしたりする原因になります。
- ※ 必ず床面に原液のまま使用し、主剤、骨材とは混合しないでください。
- ※ プライマーの乾燥時間は夏期2時間以上、冬期4時間以上を目安とします。
- ※ プライマーの乾燥を待たずに樹脂モルタル(上塗)を塗布することも可能です。ただし足の裏などにプライマーが付着して周辺を汚してしまうことがありますので、周辺部は養生してください。

2 ゴムチップ骨材の空合わせ



- 骨材をモルタルミキサーまたは練り舟に入れます。
- ※ 骨材はロットにより多少色調の異なる場合があります。その場合、仕上がりを均一にするため、骨材どうしの空合わせを十分に行ってください。
- ※ 骨材に塊がある場合は、ほぐしてください。

3 樹脂とゴムチップ骨材の混合⇒樹脂モルタル(上塗)



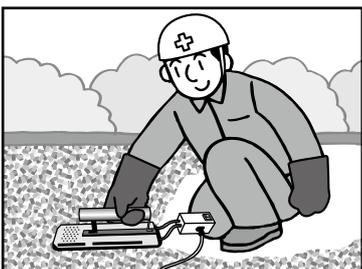
- 次に主剤を骨材中に投入し、骨材と均一になるまで十分に混ぜ合わせます。これを樹脂モルタル(上塗)とします。
- ※ 混合が不十分な場合、硬化不良や白く発泡する原因となります。特に冬期気温の低い場合には樹脂の粘度が高くなりますので、しっかり混ぜ合わせてください。

4 樹脂モルタル(上塗)の敷きならし

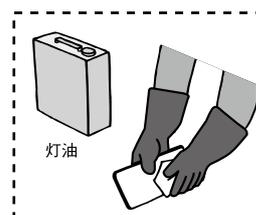


- この樹脂モルタル(上塗)を1で塗布したプライマーの上に、素早く、レーキ、または金鍍でならします。
- ※ 必要以上に時間を要すると樹脂の反応が進み、塗り付けおよび仕上げ作業が出来なくなりますので作業は手早く行ってください。
- ※ 樹脂の混合後は、30分以内で作業を完了させてください。

5 樹脂モルタル(上塗)の押さえ仕上げ



- 金鍍や電気鍍などで塗り面を良く押さえ込み、表面を密に仕上げてください。
- ※ 塗り面の押さえが不十分な場合、強度不足の原因となります。
- ※ 電気鍍の使用を推奨します。
- ※ 樹脂モルタル(上塗)の乾燥時間は夏期24時間以上、冬期48時間以上を目安とします。



- ※ 施工中、金鍍や電気鍍などに樹脂が付着し滑りが悪くなった場合、灯油を含ませたウエスで鍍などに付いた樹脂を拭き取りながら作業を行ってください。ラッカーシンナーと塗料用シンナーは硬化不良の原因になるので使用できません。
- ※ 灯油の使用は、ウエスに含ませて鍍を拭く程度の必要最小限とし、塗面に灯油が必要以上にかかったり、また樹脂モルタルに混入したりすることが無いようにしてください。
- ※ 作業終了後、使用した器具は早めに塗料用シンナーで洗浄してください。
- ※ 電気鍍については弊社営業所までお問い合わせください。

II. チップロードソフト(鍍塗り15mm厚：下塗7.5mm+上塗7.5mm)

①樹脂セット(プライマー入り)1ケース + ②ゴムチップ骨材1袋

+ ③樹脂セット(プライマーなし)1ケース + ④下塗用骨材1袋 /3㎡分(15mm厚)

※3㎡単位または6㎡単位(3㎡セット×2)で施工していきます。

主剤の開封後、30分以内で作業を完了させてください。

- 作業は、材料の混合と塗り付けに手分けすると作業効率が上がります。
- 材料は使い切りとし、規定量を順番通りに均一に混合してください。また追い足しは樹脂だまりによる発泡の原因となるので、避けてください。

[下塗工程]

① プライマーの塗布



- プライマーをウールローラー、刷毛などで均一に下地に塗布します。塗布量は、下地状態により異なりますが200g/㎡を目安としてください。
 - ※プライマーは薄めずにそのまま使用してください。水やラッカーシンナーなどを加えると白く発泡したり硬化不良をおこしたりする原因になります。
 - ※必ず床面に原液のまま使用し、主剤、骨材とは混合しないでください。
 - ※プライマーの乾燥時間は夏期2時間以上、冬期4時間以上を目安とします。
 - ※プライマーの乾燥を待たずに樹脂モルタル(上塗)を塗布することも可能です。ただし足の裏などにプライマーが付着して周辺を汚してしまうことがありますので、周辺部は養生してください。

② 下塗用骨材の空合わせ



- 下塗用骨材をモルタルミキサーまたは練り舟に入れます。
 - ※骨材に塊がある場合は、ほぐしてください。
 - ※ゴムチップ骨材の色番号70(黒ゴム)とは異なりますので、間違わないように注意してください。

③ 樹脂と下塗用骨材の混合⇒樹脂モルタル(下塗)



- 次に主剤を骨材中に投入し、骨材と均一になるまで十分に混ぜ合わせます。これを樹脂モルタル(下塗)とします。
 - ※混合が不十分な場合、硬化不良や白く発泡する原因となります。特に冬期気温の低い場合には樹脂の粘度が高くなりますので、しっかり混ぜ合わせてください。

④ 樹脂モルタル(下塗)の敷きならし&押さえ



- この樹脂モルタル(下塗)を①で塗布したプライマーの上に、素早く、レーキ、または金鍍でならし、押さえます。

次に、この下塗の上に上塗を塗布します。

- ※下塗が未硬化でも上塗の塗布は可能です。但し、上塗に下塗が混ざらないように注意してください。

[上塗り工程]

5 ゴムチップ骨材の空合わせ



- 骨材をモルタルミキサーまたは練り舟に入れます。
※骨材はロットにより多少色調の異なる場合があります。その場合、仕上がりを均一にするため、骨材どうしの空合わせを十分に行ってください。
※骨材に塊がある場合は、ほぐしてください。

6 樹脂とゴムチップ骨材の混合⇒樹脂モルタル(上塗り)



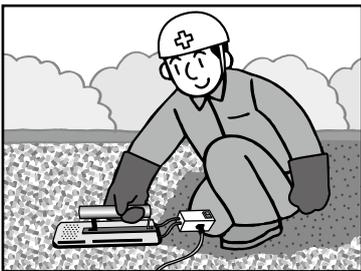
- 次に主剤を骨材中に投入し、骨材と均一になるまで十分に混ぜ合わせます。これを樹脂モルタル(上塗り)とします。
※混合が不十分な場合、硬化不良や白く発泡する原因となります。特に冬期気温の低い場合には樹脂の粘度が高くなりますので、しっかり混ぜ合わせてください。

7 樹脂モルタル(上塗り)の敷きならし

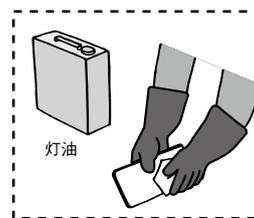


- この樹脂モルタル(上塗り)を4樹脂モルタル(下塗り)の上に、素早く、レーキ、または金鍍でならします。
※下塗が未硬化の場合は、上塗に下塗が混ざらないように注意してください。
※必要以上に時間を要すると樹脂の反応が進み、塗り付けおよび仕上げ作業が出来なくなりますので作業は手早く行ってください。
※樹脂の混合後は、30分以内で作業を完了させてください。

8 樹脂モルタル(上塗り)の押さえ仕上げ



- 金鍍や電気鍍などで塗り面を良く押さえ込み、表面を密に仕上げてください。
※塗り面の押さえが不十分な場合、強度不足の原因となります。
※電気鍍の使用を推奨します。
※樹脂モルタル(上塗り)の乾燥時間は夏期24時間以上、冬期48時間以上を目安とします。



- ※施工中、金鍍や電気鍍などに樹脂が付着し滑りが悪くなった場合、灯油を含ませたウエスで樹脂を拭き取りながら作業を行ってください。ラッカーシンナーや塗料用シンナーは硬化不良の原因になるので使用できません。
※灯油の使用は、ウエスに含ませて鍍を拭く程度の必要最小限とし、塗面に灯油が必要以上にかかったり、また樹脂モルタルに混入したりすることが無いようにしてください。
※作業終了後、使用した器具は早めに塗料用シンナーで洗浄してください。
※電気鍍については弊社営業所までお問い合わせください。